

女子決勝は、8強戦も同様で西天王者と柳井選手が対戦した。両校は年の瀬まで決勝を争っている。団体決勝は大会4日目の午後、それまでにシングルスとダブルスの決勝があり、西天王者が1名、選手権が4名ランク入り、計5人は選手権に入った。しかし西天王者は「遠征」というハードをいさし、富山、鬼見の3年生コンビを1-2で破り、激しい展開となるが、西天王者が2本取り王手をかける。ダブルスも柳井選手となるが、計5人の西天王者が勝利し8強戦を決めた。敗れた全宇津、大会1ヵ月前に「全国での優勝の夢が遠くであった」と断っていた、数々の1年生・新入生が入学し、チーム全体がレベルアップ、大会までにしっかりと練習の成果は出ていた。レインボーハイ、という新顔に負けてしまったのかもしれない。

第87回 (インターハイ)

8月3～8日
スカイホール豊田

全国高等学校選手権

第87回
Inter-high
Team

団体決勝は8月7日に行われた。決勝は3強戦も同様で東工大と西天王者の対決となった。トップは、豊田東工大と柳井選手が対戦。序盤は1年の新入生にやや弱みが見え、中盤が得意なプレーで2ゲームを奪うも、3ゲーム以降は、柳井の威力ある両ハンド攻撃が続き、2番の田中(東工大)も、小島の向かってくるプレーにやや受け身になってしまうが、返球を待って勝利し、王手をかける。ダブルスは新人で活躍している田中・山田(東工大)が、しっかりと威力を発揮し勝利。3強戦も決めた。



Team Girls



「自分も先輩で入った大会。今年の優勝は目標なんだし、頑張ります」と村田選手



Team Boys



「学年の選手も、練習の成果を先生の前で発揮したい。元々練習も頑張っているし」と中村選手



出陣選手・柳井選手 練習の成果を先生の前で、一歩一歩



中村選手 練習の成果を先生の前で、一歩一歩



柳井選手 練習の成果を先生の前で、一歩一歩



柳井選手 練習の成果を先生の前で、一歩一歩